

● 広報

おぐに



— 熱いまなざしの先に —

小国町消防操法大会の一幕。団員の消火技術は一朝一夕で習得されたものではない。日中はそれぞれに仕事をしながら、夜間や休日などの自由な時間を割いて、先輩や消防職員の指導を受け、訓練に励んでいる。有事の際には、いち早く現場に駆け付けてひたむきに活動を行う団員たち。消防団員が私たちの生活を守ってくれている。

2018

8

No.766

高齢社会に対応した 公共交通の確立に向けて ～町営バスと北部地区での新たな試み～



昨年11月1日に関係者が旧あさひ保育園に集まり北部地区空白地有償運送実証運行開始式が行われた

鉄道やバスなどは、誰もが気軽に利用できる交通手段として私たちの生活を支えている公共交通機関です。道路交通網の整備や自家用自動車の普及、人口減少などの社会環境の変化によって年々利用者数が減少傾向にある一方で、高齢者の交通事故が全国各地で多発しており、交通弱者と呼ばれる免許を持たない子どもや高齢者の足となる交通手段の確保が大きな課題となっています。今月は、高齢社会に対応した公共交通の確立に向けて本町が進めている取り組みを紹介します。

本町の路線バスの歴史

本町での路線バスは、昭和26年4月1日、国鉄自動車象潟自動車営業所小国支所が開所し、町中心部から北部地区・荒沢までの15・1kmと南部地区・長者原までの23・6kmを運行したのが、始まりになります。

これ以降、国鉄（現JR）によって中心部から伊佐領（昭和29年）や東部（昭和31年）、金目（昭和37年）、大滝方面（昭和49年）などに運行され、徐々に路線を延長しながら、現在の町営バス路線の原型となる交通網が敷かれていきました。

しかし、人口減少や自家用自動車の普及などに伴い、バス利用者が年々減少したことから、平成2年以降には採算が見込めない路線が徐々に廃止されていきました。

こうした中、町では廃止さ

特集 高齢社会に対応した公共交通の確立に向けて



▲昭和26年の国鉄バス運行開始当時の写真



▲自家用自動車普及以前は路線バスは生活に必要な不可欠な交通手段だった

現在の小国町営バス

しかしながら、社会環境の変化に伴い、町営バス利用者の

れた路線の代替として平成2年11月から大滝線を町営バスで運行したのを初めとして、その後も沿線住民の足の確保を図るため、JRバス廃止路線に替わり町営バスを段階的に運行し、平成21年には町内ほぼ全ての集落を網羅する運行路線を形成しました。

は減少を続け、町営バス事業の収支が悪化する一方で、沿線地区の子どもや高齢者などにとつて、町営バスは必要不可欠な交通手段であるため、利用者の利便性の向上と運行経費の削減を図ることを目的に平成21年から金目線に、平成22年から足中線と白沼線にそれぞれデマンド型乗合タクシーを導入しました。

現在、町営バスは、路線バスとデマンドタクシーの大きく2種類のバスを運行しています。

路線バスには、北部線、南部線、東部線、循環線の4路線があります。このうち循環線は、西循環田沢頭経由、西循環宮の台経由、東循環、内循環西まわり、内循環東まわりの5つの系統に分かれています。

路線バスは、主に日常生活の足として、買い物や通院、通学などを目的として利用されるが多く、春から夏には登山などの観光客にも利用されています。

一方で、金目線、足中線、白沼線の3路線に導入しているデマンドタクシーは、事前に役場で利用登録を行い、運行を担っている小国タクシー(株)へ電話予約を行います。利用者の予約がなければ運行しないため、効率的な運行が可能になっています。また、デマンドタクシーには、自由に乗降できる区間を設定しており、区間内であれば自宅前からも乗降できるため、利用者

の利便性向上にもつなげていきます。

地域公共交通会議

町では、町営バスを運行するにあたって、地域公共交通会議で運行内容等について協議を行っています。

地域公共交通会議は、道路運送法の規定に基づいて設置されており、行政関係者や地域住民の代表者、旅客運送事業者、学識経験者などで構成され、地域の需要に応じた住民生活に必要なバスなどの乗合旅客運送の確保や利用者の利便性の向上を図るため、運行の形態や運賃(利用料金)、事業計画(路線、営業区域、使用する車両など)、運行計画などについて協議を行っています。

地域公共交通会議は毎年開催していますが、その都度各地域の現状やバスの在り方



▲さまざまな立場の委員からの意見を聴取している

などについて意見交換がされています。今年6月に行われた会議では、「足中地区では、高齢化が進み介護施設への入所などによって利用人数が減少している。4月に新設された運転免許証の自主返納制度も週1日のデマンドタクシー運行では活用が難しい。増便の実施によって日常生活が可能な公共交通を実現してもらいたい」。「昨年11月に空白地運送の実証運行を行った。今年度は7月から3月ま

で再度実証運行を行う。どのような結果になるかは想像できないが、前向きに取り組みたい。さまざまな事情があり町中心部までの運行はできないこととなっているが、地域の高齢化が進んでいる中、可能性のひとつとして今後検討したい」。「高齢化や人口減少が進む中、地域公共交通の維持のために利用者の利便性向上に向けたさらなる取り組みが必要である」。などといった意見が出されました。

町では、会議で出された意見をもとに、地域の実情の更なる調査を行うとともに、今後の交通体系の在り方について検討を行いながら毎年のバ

町営バスの利用状況

町営バスの利用者は、平

ス路線やダイヤの見直しなどを実施しています。



▲小国町営バスの路線図と周辺集落の運行曜日（循環線を除く）

成12年の年間6・3万人をピークにして、減少に転じています。近年は、学校統合に伴い、町営バスを利用して通学をしている子どももいるため、児童生徒数の増減によってわずかに増加することもある

特集 高齢社会に対応した公共交通の確立に向けて

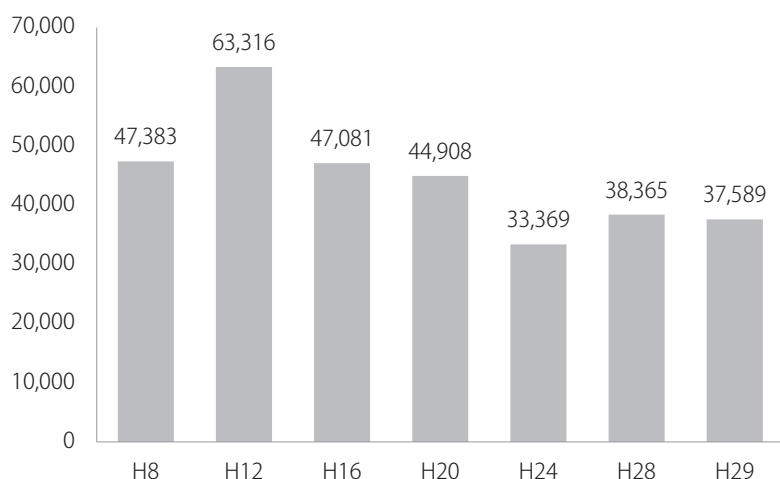


表1 町営バス利用者数の推移

りますが、総じて年々減少している状況にあり、平成29年は年間3・7万人の利用者数となっています。(表1参照)

年々利用者が減る中で、特に高齢者や子どもたちなどの運転免許証を持たないかたがたの足として、効率的かつ効果的な町営バスの運行を確保していくことが求められています。

町営バスを利用して通学している小国高校2年の舟山優奈さん(小玉川)は、「私は、中学1年生の時から町営バスを利用しています。毎朝7時のバスに乗り町中心部まで通い、帰りは最終バスを利用しています。町営バスには小中学生や地域のかたと一緒に乗ることもあり、小学生の賑やかさに圧倒されることもあります。ですが、色々な話もできて楽しく過ごせる空間でもあります。私は高校生なので利用料金が半額になりますが、小玉川から中心部までの大人料金が片道600円、往復で1000円以上かかってしまうので、もう少し安く乗れるといいなと思います。」と話してくださいました。

町営バスの料金は、路線毎に乗車距離に

応じた料金体系を用いていますが、小学生、中学生および高校生には、普通利用料金の半額になる子供利用料金を設定しています。

また、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持しているかたは、手帳を運転手に見せることで、無料で利用できるとともに、そのかたの介護人(1人につき1人)の利用料金も半額になります。

そして、70歳以上の高齢者



▲南部線の朝便には小中高生も乗車している

のかたで、小国町営バス半額利用券を所持する場合は、利用料金が半額になります。昨年度まで半額利用券については、役場窓口で書類申請が必要でしたが、今年度から発行までの手続きを簡素化するとともに、70歳になるかた全員に郵送している「高齢受給者証」に半額利用券を同封するなど、高齢者のかたがたが役場に来庁する手間を省いています。

多発・重傷化する交通事故

一般的に高齢になると身体機能の低下のみならず、判断能力が低下するため、自動車運転の危険性が高まると言われています。

全国的に高齢ドライバーが第一当事者(事故原因)になる交通事故が増加しています。が、本町では、昨年1年間の28件の人身事故のうち11件



この写真はイメージです

(39・3%)、5件に2件が高齢運転者による事故となっており、交通事故死者数は3人中3人全員が高齢運転者に主原因のある交通事故で亡くなっています。また、平成30年に入ってから7月17日時点で、人身事故の2件に1件が高齢運転者による交通事故となっている状況にあります。

こうした中、町では高齢者による事故の未然防止に加え、運転免許証を返納した後の足の確保を図るため、運転

免許証返納者の町営バス利用料を無料にする事業を今年度から始めています。

これは、運転免許証を警察署に自主返納したかたが、県公安委員会が交付する(小国警察署で申請可能。交付には手数料がかかります。)(運転経歴証明書)を、町営バス利用時に提示することで利用料金が無料になるものです。こうした免許返納後の優遇措置については、他市町村でもいくつか例はありますが、期限を設けずに行っているのが本町の特徴です。

小国警察署によると、今年度免許証返納者優遇制度ができたことも影響し、7月17日時点でこれまでの3倍以上にあたる22人が、窓口で免許証を返納しているそうです。

将来を見据えた 新たな試み

今後、高齢者数は横ばいに



▲地域おこし協力隊野口隊員から説明を受けるドライバーのかたがた

推移し、総人口に占める割合が年々増加することが予想される中、運転免許証を手放した後の生活の利便性を確保するため、新たな移動手段の導入を北部地区(越中里以北)で行っています。

北部地区振興協議会の協力を得て、昨年11月の1ヵ月間、空白地有償運送実証運行を行い、本年も7月2日から運行しています。

これは、交通手段を持たな

いかたなどを地域のかたが自家用自動車で目的地まで送迎するもので、ドライバーになっているかたは、乗客を乗せるための講習を受講しています。なお、これは町中心部までの移動ではなく、北部地区内や、自宅からバス停までの移動の際に使える交通手段としています。

北部地区振興協議会会長の山口誠一さん(樋の沢)は、「地域内バスの話は、2年以上前から話している、町中心部までであれば別ですが、地域内の移動に需要があるのか疑問でした。また、他人を自分の車に乗せるということで、事故が起きたときが一番の気がかりでした。一方、地域の状況は、公民館利用を見てもお年寄りのかたが中心で、その人たちが移動手段がなく家にこもるのではなく、気軽に外出できるようにという思いもあり、今回実施したところです。昨年11月には地域内で映画上

特集 高齢社会に対応した公共交通の確立に向けて



▲乗用車で自宅から目的地まで送迎している

映や体操教室などの行事もあり1カ月で63人の利用がありました。車を持たない人にとっては大変いい仕組みですが、今後町中心部までという希望が出た時にどうするかが課題になります。また、現在は、町の事業としてやっていますが、これを地域で担うとなると運営面などにさまざまな課題があると思います。まずはこの仕組みを地域全体にいか浸透させていけるかを考えていきたいと思っています。」



▲昨年11月の運行開始式でレプリカキーを受け取る
北部地区振興協議会山口誠一会長（右）

と話してくださいました。
昨年このバスを利用した秘多ミツ子さん（長沢）は、「こうしたバスがあればとても便利ですし、予約も地域おこし協力隊の野口君に電話するだけなので使いやすいです。2人暮らしをしていて、いちいち送り迎えを電話で頼むよりも、予約の時に帰日も頼めるのでとても便利です。こうした移動手段があるので、今後はりふれを活用した事業があると多くの人と集まれるなと



▲秘多ミツ子さん（左）と秘多好信さん（右）

思っています。」と話してくださいました。

秘多好信さんは、「現在は夫婦どちらかが運転免許を持つていたり、子どもと同居していたりして利用することがなくても、5年くらい先のことを考えると、いずれ免許返納をしなくてはならない時が来るので、なくしたくない仕組みだと思っています。高齢者2人で暮らしていると、車のなくなる生活は目前まで来ているので、今の仕組みが続けば安心だと思っています。」と

話してくださいました。

より良い交通体系の構築に向けて

山間地域にあって、かつ大きな面積を有し、集落が点状する本町にとって、町営バスやデマンドタクシーなどといった公共交通は必要不可欠なものになります。また、こうした環境下で町民生活を営んでいくうえでも、今後ますます重要な役割を果たしていくこととなります。

町では、現在北部地区で試験的に行っている地域内運行の仕組みを徐々に確立しながら、その成果と課題を整理・検討するとともに、先進自治体や状況の似た自治体を参考にしながら、利用者の目線にたち、地域の実情に合った本町独自の公共交通体系の構築に向けて、今後も引き続き検討しながら望ましい交通体系の確立を目指していきます。



7月1日
町内各所

早朝から多くのかたが協力 ～河川清掃～

平成30年度河川清掃が、7月1日、町内の8河川13カ所で行われました。これは、美しい水辺を守ろうと、県民河川・海岸愛護デーに合わせて毎年実施しているものです。

当日は、早朝から各地区で多くの住民が参加し、川岸に生い茂った草の刈り払いやゴミ拾いなどを行いました。



7月1日
旧沖庭小学校

スポーツで親睦深める ～沖庭地区レクリエーションスポーツ大会～

第5回沖庭地区レクリエーションスポーツ大会が、7月1日、旧沖庭小学校体育館で開催され、同地区の子どもからお年寄りまで約80人の住民が参加しました。これは、平成26年度から旧校舎を活用して地区住民がふれあえる場を設けようと実行委員会（佐藤孝志会長）が主催しているものです。大会では、健康吹き矢やカローリング、輪投げなど5種目が行われ、スポーツを通して参加者同士の親睦を深めていました。



6月24日
町内各所

職人が真心込めて研ぐ ～小国町建築組合住宅デー～

小国町建築組合（飯沢三幸組合長）が主催する第41回住宅デーが、6月24日、アスモや役場、エコ前で行われました。住宅デーは、全国建設労働組合総連合が昭和53年に制定し、住宅建築に従事する職人の仕事・技能のPRや住宅相談、包丁研ぎなどのボランティアを行うものです。この日は、多くの来場者たちから預かった包丁を組合員のかたがたが1本1本丁寧に仕上げていました。



7月15日
町内各所

幅広い年代がスポーツで交流 ～白い森ニュースポーツ大会～

第24回白い森ニュースポーツ大会（小国町・小国町教育委員会・小国町体育協会主催）が、7月15日に開催されました。

グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール、ゲートボール、ペタンク、パークゴルフの5種目が行われ、子どもから高齢者まで町民約300人が参加しました。各種目ではそれぞれの体育協会がさまざまな年代の人たちで構成するチームで出場し、スポーツを通して世代を超えた交流を深めていました。ソフトバレーボールの会場では、1点の取り合いが試合終盤まで続けられ、手に汗握る熱戦を繰り広げられました。

総合結果は、優勝が北部地区体育協会、準優勝が町岩東地区体育協会、第3位が東部地区体育協会となりました。



「今日に感謝」

series
28

協力隊通信

地域おこし協力隊

よしだ ゆうと
吉田 悠斗

6月1日より、小国町地域おこし協力隊農業振興部門に着任した吉田悠斗です。先日、市野沢放牧場を歩く牛と対峙して以来、「人間も生き物である」という当たり前の事実を、感覚として取り戻しつつあります。肌で数字を刻印され、鼻に輪を通してれた牛は、人間に育てられ、管理された命です。人間もまた死から逃れられないのであれば、どんな人生を送ったっていつか等しく終わりが来ます。

また、小国町へ来てご年配のかたと話す機会が多々ありましたが、その中でここ数十年間に科学がいかに急速に発展したかを思い知りました。除雪機、田植え機、携帯電話などの機械が普及してきたのは1900年代半ば以降と聞きました。およそ7万年前、人間が文化を形成し始めた歴史から見れば、この変化の期間は点に等しいです。これはまた面白い時代に生まれてきたと思いました。

こうしてご縁あって、小国町に、このタイミングで生きていることに感謝しながら、これからの日々を歩んで参りたいと思う今日この頃です。



▲市野沢放牧場にて牛と対峙する吉田悠斗

技を^な絢う

その④

人と道具の物語



▲伊藤 庄九郎 氏

真つ白な残雪を、その広大な山稜と深い谷間にたくわえた飯豊連峰。夏の強い日差しが峰々をまぶしく照らします。その沢筋から流れ出る玉川は夏でも水温が低く、昭和29（1954）年に赤芝ダムができるまではマス（サクラマス）やサケ（シロザケ）が産卵のため遡上していました。とくに多く上ってきたマスは、成熟すると体長が50センチを超え、重要なタンパク質源でした。今回は、

玉川・下新田の伊藤庄九郎さん（昭和4年生まれ）のお話から、恵み豊かであった玉川の記憶をたどってみたいと思います。

春に河口から遡上してきたマスは秋の産卵期まで川淵にある深い岩穴（ガンメと呼ばれる）の中や、瀬にある大岩の陰に潜んでいるといいます。それを潜つて、あるいは水中に顔をつけて探し、ヤスで突くというのが主な漁法でした。この時

よく用いられていたのは、二又に分かれた離頭式のヤスで、獲物に刺さると、柄と紐でむすばれた先端が外れるようになっていきます。そのため、ヤス先が固定されているものに比べ泳ぎ暴れる獲物を逃がしにくかったのです。



▲新田橋から玉川を望む
ほとんどの淵には名前が付けられていた。また、当時はここから淵を泳ぐマスが見えたという。

「マスは、いっぱい来た年だと7月ぐらいからくぐって（潜って）たな。その頃だとまだ冷たいから何回もくぐられなかったけど。サケは秋。飯豊の峰、白くする頃。そのときも寒いんだわ。一潜りしたらさっと引き上げてくるんだ。」

暑くなつて盆過ぎ、盆前頃は、こちらの衆は5人くらい組んでマス捕りに玉川、泉岡辺りまで行ったもんだ。俺もそんなときに親父の後ついて歩いて、危ない場所とか地形を教えられた。『この淵はな、危ねえからマス突いたら絶対（来た方向に）戻んなよ。』とかな。そこは（奥行きが）5、6メートルぐらいも

ある岩穴で、戻つてこようとしても水流で押し戻されて上がつてこれねえんだ。水に流されて一回下さ行かないと、出てこれねえで溺れてしまふんだな。

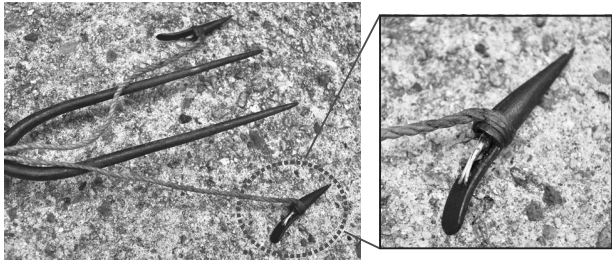
マス捕りはな小学校6年生ぐらいからやつたな。その頃はあまり潜れなかったから、雑魚捕り用のヤス（小型ヤス）で。大きくねえマスだと瀬にある岩の下に隠れてんだ。夏の学校帰りに、腰の辺りまで水に浸かつて探して歩いたもんだ。

仕事するようになってからも一人でずいぶん歩いた。炭焼きやつてて昼間暇になると川さ走って行つてな。あそこさはこんな姿のいたなと思うと、やっぱ



◀伊藤さんのマスヤス
羽越水害（昭和42年）後、
コイが生息するようになり、
それを水面上から突くため柄を、
軽い金属製パイプに変えたとのこと。
マス獲りに使っていた頃は、
真っ直ぐなナラヤスギ材を柄に使った。
（全長 195センチ）

り行ってみないと気が済まないんだな。一番大きいので4キロのもの捕ったことがある。あれは淵でなく瀬。のぞくと、泡立ちの中、石の下で休んでてな。『いたわい、これは！』って。



▲ヤス先

ヤス先（筥）の中に藁をつめることで獲物に当たったときの衝撃を吸収させ、金属の枝先から外れにくくした。また、紐は麻を三つ編みにしたもので、毎年春に新調したという。

やっぱりマスが上ってきたのは（玉川の）水が冷たいからだべな。足水川の方にはマスは行かなかったもの。水がぬるくて、それにあまりにも暑い日が続くと、横川、金目川の方のマスもこころへ帰ってくるんだな。ナグリってオラうで言っただけ。『今日は横川のナグリいっぱい来てたぞ』って。それも夏、8月半ば頃からだな。」

夏が過ぎ10月頃になると、マスは産卵期を迎えます。上流の浅瀬へ移動し、雌マスは尾っぽで川底の砂利を掘って産卵床を

つくるといい、ホリマスと呼ばれていました。それまでいた深かったところから浅いところへ出てきたマスを大ヤスで岸から突いたり、引っ掛け鉤（かぎ）を用いて捕る人もいましたが、伊藤さんはしなかったそうです。「秋は田んぼとか忙しくてな。産卵を終えたマスなんてクサレマスなんて言ってたもの。やっぱり水の冷たい夏場が美味しかったな。」そう伊藤さんは言います。

この筥状の先を付けたマスヤスは、深みに潜む夏場のマスを捕るために生み出された道具であり、それには、流れのあるなか自在に泳ぎヤスを使いこなせるだけの高い身体能力と、地形特性に関する知識が欠かせなかったのです。



▲マスを上から突くための大ヤス（左）と、引っ掛け鉤（右）。（白井森くらしの資料館所蔵）

もちろん川の恵みは、このよなマスやサケといった大型魚だけではありません。雑魚（ざっこ）と呼ばれたイワナやカジカたち。また、海に下らず、一生を河川で過ごすサクラマスの残留個体（ヤマメ、とくに大きいのはスダツと呼ばれた）など、様々な淡水魚が食卓をにぎわせたのです。

「川にずっといるイワナも力ジカも前ほどは見なくなっただんだ。どうしたもんだか。」と伊藤さん。親戚や旧友たちが帰省するこのお盆に、川が暮らした場であり、遊びの場であったあの頃の思い出話を花を咲かせてみてはいかがでしょうか。そして小国を流れる川の「今」に思いを馳せてみませんか。

西澤祐さんが全国消防救助技術大会に出場決定

西置賜行政組合消防署小国分署・消防士の西澤祐（たすく）さん（小国小坂町）が、6月28日に行われた第30回消防救助技術山形県指導会のはしご登はんに出場し、見事に1位のタイムを記録。8月24日に京都府で開催される第47回全国消防救助技術大会出場が決まりました。

西澤さんは、「県代表として

の誇りを持って、上位入賞できるタイムをねらっていききたいです。」と抱負を話してくださいました。



置賜定住自立圏形成協定を締結しました

置賜地域8市町からなる「置賜定住自立圏」の形成協定締結式が、6月29日、米沢市役所で行われました。これは、中心市の都市機能や周辺市町の農林水産業、自然環境などの魅力を相互に補完しながら活用することで魅力あふれる地域圏形成を目指すものです。

置賜定住自立圏形成協定締結式

米沢市 長井市 南陽市 高島町 川西町 小国町 白鷹町 飯豊町



町内企業で働く新卒者が企業の枠を超え交流を深める ～平成30年度小国町新社会人就職お祝い会～

平成30年度小国町新社会人就職お祝い会が、7月7日、森林セラピー基地ぶなの森温身平などで開催され、今春町内企業等に就職した新卒者34人が参加しました。これは、町内企業、事業所などへの新卒者の就職促進を図るとともに、町内で働く同世代の仲間との交流を通し、多様な人間関係づくりにつなげてもらおうと昨年度から町が主催しているものです。

この日は、あいにくの雨でしたが、飯豊連峰の麓に位置する温身平で森林セラピーを体験したほか、昼食をとりながら自己紹介や仁科町長、山口副町長と意見交換を行うとともに、企業の枠を超えた交流を通して親睦を深めていました。





▲式には東北芸術工科大学中山ダイスケ学長（右）と（株）オカムラ 岩下博樹顧問（左）が出席し、協定を締結した



▲東北芸術工科大学の学生からこれまでの演習成果も披露された

学校法人東北芸術工科大学およびオフィス家具メーカーの株式会社オカムラと町は、7月6日に町内産木材の利活用を推進するための連携協定を締結しました。

これは、同大が平成27年から本町の木材を活用して演習を実施し、また、その演習に（株）オカムラが次代の家具デザイナー人材の育成・指導のため講師を派遣し協力してきた経緯があり、町としてもさらに連携を強化し町内産木材の利活用や木育等の推進につなげるため協定したものです。

協定では、本町木材および加工施設等を活用した製品の企画、研究開発、製作販売に関することと、木育をはじめとする各世代の木材との積極的な関わりを推進することとしています。

役場ロビーには演習で学生がデザインし、（株）オカムラが制作した「芽生えテーブル」と「うぐいす」を展示しています。庁舎にお越しの際は、実際に座ったり、触ったりしてみてください。

東北芸術工科大学 × 株式会社オカムラ × 小国町

OGUNI 白い森 ニュース

地域総合商社経営戦略責任者(CSO)に 396人 の応募！！

地域総合商社とは、魅力ある地域資源について生産段階から流通、販売まで一貫したマーケティングを行い、市場から従来以上の収益を引き出すための新しいビジネスモデルです。6月7日から7月4日まで募集を行った地域総合商社CSOには、国内外より想定をはるかに超える396人の応募がありました。

小さな町の大きなチャレンジに多くの関心をお寄せいただき、応募をきっかけに小国町を訪れたかたもいらっしゃいました。現在選考を進めていますので、決まりましたらお知らせします。

どんなかたが来てくれるのか、どうぞ楽しみに。

小国町消防操法大会 （団員が日ごろの訓練成果を発揮）

平成30年度小国町消防操法大会が、6月24日、西置賜行政組合消防署小国分署で開催されました。

この大会は、操法技術の向上と団員の士気高揚を図り、有事の際のスムーズな体制確立のために行われています。出場選手たちは、この日まで夜間などに小国分署職員の指導を受け練習を重ねてきました。

大会では、ポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部、小型ポンプ積載車操法の部の3



種目が実施されました。出場した選手は、指揮者の指示に合わせ、全員が息の合った迅速かつ的確な動作を見せ、これまでの練習の成果を発揮していました。



地域企業等人材確保支援事業

町内企業等が町外から転入したかたを新規雇用した場合に、企業等に補助金を交付します。該当するかたを雇用する企業等は申請をしてください。なお、申請は随時受付しています。

■対象者

転入者を雇用した企業等

■支給額

1人あたり5万円または7万円

■申請方法

転入者を雇用する企業等は、申請書に添付書類を添えて産業振興課に申請をしてください。

■添付書類

新規雇用者の雇用保険被保険者資格取得通知書の写し等

■申請・問合せ先

産業振興課商工労政担当
(☎62-2416) へ

公立置賜総合病院の 非紹介患者初診加算料等の改定について

公立置賜総合病院では、他の保険医療機関等からの紹介状がなく来院された患者さんから「非紹介患者初診加算料」を、また、病状安定後に他の保険医療機関等に文書紹介された後、新たな紹介状なしに再診で受診された患者さんから「再診時特定加算料」をいただいています。

この度、厚生労働省令の改正に伴い、下表のとおり改訂しますのでご理解をお願いします。なお、この加算料は窓口負担のない医療証をお持ちのかたであっても、保険診療外のため窓口負担が発生します。救命救急センターを受診される場合も同様です。日頃から「かかりつけ医」を持ち、専門的な治療が必要な場合は、紹介状を持参のうえ受診してください。

■改定日 平成30年10月1日(月)～

(金額は1回につき税込み)

区 分		改訂前	改訂後
非紹介患者初診加算料	医科	3,240円	5,000円
	歯科	3,000円	同額
再診時特定加算料	医科	380円	2,500円
	歯科	380円	1,500円

町内企業説明会・企業見学会

- 日時 8月18日(土)13:30～
- 場所 おぐに開発総合センター
- 内容 おぐに開発総合センターでクアーズテック(株)と日本重化学工業(株)の企業説明会ののち、クアーズテック(株)小国事業所での企業見学会(15:00～)を行います。
- 対象者 町内の小中高校生およびその保護者
※一般のかた、町内企業等へ就職を考えているかた、町外の高校生、学生のかたも参加可能。
- 申込み 参加を希望するかたは、8月13日(月)まで町産業振興課に申込みください。
- 定員 企業見学会については20人を定員とします。
- その他 説明会会場から見学会会場まではバスで移動します。
- 申込・問合せ先
産業振興課商工労政担当(☎62-2416)へ

情報公開制度と個人情報保護制度の平成29年度の運用状況

- 情報公開制度 情報公開請求12件【決定件数10件(うち前年度繰越2件)、取り下げ0件、翌年度繰越4件】
- 内訳 ◇全部公開2件◇部分公開5件◇非公開3件(不存在含)◇異議申し立て0件
- 個人情報保護制度
個人情報取扱事務届出件数502件
- 内訳 ◇町418件◇教育委員会41件◇選挙管理委員会21件◇監査委員2件◇農業委員会16件◇固定資産評価審査委員会1件◇議会3件(総務企画課行政管理室)

歯周疾患検診を受けましょう！

山形県後期高齢者医療広域連合では、高齢期における健康を維持し、食べる楽しみをいつまでも得られるよう、歯を失う大きな原因となっている歯周疾患の予防を目的に、歯周疾患検診事業を実施しています。お口の健康は、全身の健康につながります。平成30年度の対象になっているかたは、この機会にぜひ受診してください。

- 対象者 昭和17年4月1日～昭和18年3月31日に生まれたかたで、保険証(後期高齢者医療被保険者証)をお持ちのかた
- 検診場所 山形県歯科医師会所属歯科医院
- 受診期間 平成30年12月31日(月)まで
- 受診料金 無料
- 受診方法 事前に受診する歯科医院に予約してください。その際「山形県後期高齢者医療広域連合の歯周疾患検診」である旨お伝えください。
- 受診時の持ち物 受診券、受診票、保険証
- その他 対象者には、7月27日付けで受診券、受診票等を送付しています。
- 問合せ先 山形県後期高齢者医療広域連合事業課給付係(☎0237-84-7100)へ

町営町原墓地の使用募集について

- 募集区画 A区画(1.5坪) 3区画
- 募集期間 8月31日(金)まで
- 永代使用料 90,000円
- その他 申込みが複数となった場合は抽選となります。
- 申込・問合せ先
町民税務課町民生活担当(☎62-2260)へ

入札結果情報(平成30年6月21日～平成30年7月20日実施)

単位(円)

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H30.6.25	平成30年度小国町林地台帳等作成業務委託	小国小坂町	H31.3.15	2,340,000	(株)パスコ山形支店	2,180,000
H30.6.27	平成30年度町道舟渡上平線舗装補修工事	舟渡	H30.8.24	7,279,000	小国開発(株)	6,500,000
H30.7.4	平成30年度小国町都市計画図作成業務委託	小国町中心部(都市計画区域)	H31.3.15	8,690,000	国際航業(株)山形営業所	8,300,000
H30.7.4	平成30年度あけぼの高齢者住宅用地測量業務委託	あけぼの	H30.8.31	2,770,000	(有)小国測量設計事務所	2,700,000
H30.7.4	平成30年度白い森交流センターりふれ温水洗浄便座化工事	五味沢	H30.8.10	2,098,000	山一住設(株)	2,080,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

募集

町営住宅入居者募集

- ① 町営住宅小坂町団地
3DK 2戸(3・4階)
■家賃 所得と家族構成による
■その他 所得制限あり
- ② 町営住宅あけぼの団地
3DK 2戸(2・3階)
■家賃 所得と家族構成による
■その他 所得制限あり
- ③ 町営住宅あけぼの高齢者団地
1LDK 1戸(1階)
■家賃 所得と家族構成による
■対象
- ▽世帯所得が21万4千円以下
で住宅に困っているかた
▽60歳以上のかたで自立した
生活を送ることができ、同
居するかたが配偶者または
60歳以上の親族であること
- ④ 小坂町勤労者住宅
2DK 1戸(3階)
■家賃 38000円
■対象 町内事業所にお勤めのかた
- ①④共通
- ◎敷金 家賃の3カ月分
- ◎募集期限 8月10日(金)

県営住宅入居者募集

- ◎入居時期 8月下旬以降
- ◎問合先 地域整備課建設管
理室(☎62・2431)へ
- 募集住宅 3DK 8戸
- 家賃 所得により決定
- 対象 入居世帯の所得制限あり
- 敷金 家賃の3カ月分
- 募集期間 8月6日(月)～10日(金)
- 入居時期 10月上旬
- 申込先 置賜総合支庁西庁
舎(長井市) 総合案内窓口
- 問合先 県営住宅指定管
理者(株)西王不動産置賜事
務所(☎0238・24・
2332)へ

置賜広域行政事務組合 職員採用試験

- 採用人数 消防士 4人程度
- 受験資格 平成元年4月2
日から平成13年4月1日ま
でに生まれたかた
- ※身体及び居住要件等有り
- 試験日及び試験会場
9月23日(日) 置賜広域行政事務
組合千代田クリーンセンター
- ※体力試験は、9月25日(火)に

お知らせ

- 米沢市営体育館で行います。
- 受付期間
8月13日(月)～9月7日(金)
- 申込・問合先 置賜広域行
政事務組合(☎0238・
23・3246)へ

消費税の軽減税率制度説明会

- 事業者のかたを対象に消費
税の軽減税率制度に関する説
明会を開催します。
- 日時 8月28日(火)
13時30分～14時30分
- 場所 おぐに開発総合センター
2階 集会室
- その他 事業者とは、個人事業者及
び法人をいい、消費税が免
税となっているかたを含め
たすべての事業者を指しま
す。説明会終了後、アンケ
ーを実施しますので筆記用
具を持参ください。
- 問合先
長井税務署調査部門(☎84
・1934・1944)へ

心の健康づくり講演会

- 日時 9月14日(金)
14時～15時45分
- 場所 置賜総合支庁講堂
- 演題 ストレスと上手く
付き合おう～怒りのコント
ロール術について～
- 講師 かみのやま病院臨床
心理科長 佐藤 秀実 氏
- 参加費 無料
- 申込み 9月7日まで電話
で申し込みください。
- 申込・問合先 置賜保健所地
域保健福祉課(☎0238
・22・3015)へ

国民年金に加入の皆さんへ 「お得なお知らせ」

- 国民年金に上乗せをして年
金を増額しませんか。
受給額を増やしたい場合
は、「付加保険料(400円)
の納付」または、「国民年金
基金へ加入」という方法があ
ります。
- 問合先 山形県国民年金
基金(☎0120・65・
4192)へ

8月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 8月24日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成30年4月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 8月24日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成29年8月生まれ

■2歳児歯科健診

- ・期 日 8月22日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成27年12月、平成28年1月、2月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター

(61-1000) へ

子育て支援センターから

■8月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	9：30～11：30・13：00～15：30 (水・金は午後のみ)	不要
	8/13～16終日、8/24午後はお休みになります		
子育て講座「救急法」	8月2日(木)	10:20～11:20・子育て支援センター	不要
子育て講座「ヨガ」	8月23日(木)	10：20～11：20・健康管理センター	必要

■対象者 なかよし広場・子育て講座 就学前のお子さんとお家のかた

■その他 平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

8月5日(日)	米沢 明星歯科医院	0238-26-5255
8月11日(土)	高畠 つちや歯科医院	0238-52-0464
8月12日(日)	長井 松下歯科医院	0238-87-0878
8月13日(月)	米沢 たいら歯科医院	0238-40-8404
8月14日(火)	南陽 佐藤歯科クリニック	0238-47-2888
8月15日(水)	長井 えんどう歯科クリニック	0238-84-1088
8月19日(日)	米沢 米沢ファミリー歯科・矯正歯科	0238-21-5533
8月26日(日)	南陽 加藤歯科医院(宮内)	0238-47-2216

求 人 情 報

右の表は7月20日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2018.8

8月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●8月27日(月) 水道料

●8月31日(金)

町県民税、国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易下水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室

(62-2403) へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(株)TTM山形サテライト	(派)マシンオペレーター	4人	8:20~16:50他
医療法人社団緑愛会 満天の家	介護職(交替制)、調理職	各1人	6:45~15:45他
UTエイム(株) 新潟キャリアセンター	(派)シリコンウェーハの加工・検査作業、(派)半導体用治具の製造作業	計7人	8:20~17:05他
(有)三栄自動車工業	自動車整備士	2人	8:30~17:30
小国町森林組合	伐採・集材・造林・保育作業員、運転業務(トラック運転)	計3人	7:30~17:00
クアーズテック(株)小国事業所	製造工	5人	8:20~16:50他
遠藤建設(株)	一般作業員、土木施工管理技士、重機オペレーター	計4人	8:00~17:00
斉藤建設(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
安部工業(株)	一般作業員	1人	8:00~17:00
(株)山芳工務店	電気設備工	3人	9:00~18:00
(株)横川建設	配送運転手、営業(見習い可)、事務員、現場管理(1級または2級土木施工管理技士)、作業員、自動車整備工、重機オペレーター見習い	計9人	8:00~17:00
第一ホール小国店 ／(有)コンズカンパニー	ホールスタッフ	3人	8:30~0:00の間の2時間以上
太平ビルサービス(株) 置賜営業所	(請)日常清掃業務「小国町」	1人	9:00~11:00
(株)金十商店	(臨)青果担当、(臨)精肉担当、(臨)鮮魚担当、(臨)惣菜担当、(臨)レジ業務	各1人	6:00~19:30の間の5時間程度
(株)エルタス東北山形営業所	寮のパート勤務員	1人	9:00~17:00他
ヤマト運輸(株)長井支店	集配ドライバー	2人	8:30~11:30他

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

8月の あいイベント 小学生夏休みスポーツ教室 「ドッジボール」教室



- 日 時 8月7日(火)9:30～11:30
- 対象者 小学生
- 持ち物 室内シューズ、タオル、飲み物
- 参加費 100円

■申込・問合先
(☎62-5808)

おぐにYui
スポーツクラブ

◇さいわい荘盆踊り大会◇

- 期 日 8月11日(土)
- 時 間 子供の部 15:10～
大人の部 15:30～
- 場 所 さいわい荘大ホール
- その他 内履きをご持参ください。



小学生お菓子つかみどりは14:50から
開始します。

■問合先 さいわい荘 (☎62-3821) へ

プラチナナース研修会 ～救護現場における緊急・応急処置を学ぶ～

- 日 時 8月25日(土)9:30～15:30
- 場 所 山形県看護協会会館（山形市松栄1-5-45）
- 内 容 ①看護職のためのファーストエイド
救護現場における緊急・応急処置を学ぶ
②ナースカフェ（救護経験者との交流）
③個別相談
- 対 象 退職（予定も含む）もしくは救護の仕事に
興味のある看護職30人程度
- 参加費 無料
- 問合先 山形県ナースセンター
(☎023-646-8878) へ

総 合 セ ン タ ー 図 書 室 か ら

～新着図書～

- ◇江國香織童話集
- ◇ぼくがきみを殺すまで
- ◇平城京
- ◇ファミリーデイズ
- ◇維新の墓標

休館日 毎週月曜日・祝日

江 國 香 織
あさの あつこ
安部 龍太郎
瀬尾 まいこ
渡 辺 れい

相 談

▽年金相談

- 日 時 8月22日(水)
10:30～14:00
- 場 所 役場
- 対応者 米沢年金事務所職員
- その他 事前に申込みが必要です
- 申込・問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽弁護士無料法律相談

- 日 時 9月7日(金)
10:00～15:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町顧問弁護士
- その他 事前に申込みが必要です
- 問合先 町民税務課町民生活担当へ

森林セラピーミニツアー

森林セラピーアテンダントの案内のもと飯豊
連峰の麓で森林セラピーを楽しみませんか

- 期 日 8/5(日)、8/11(土)、8/12(日)、
8/19(日)、8/26(日) 計5回
- 場 所 森林セラピー基地 温身平
- 参加方法 温身平の入り口（湯沢ゲート）にアテンダントが常駐（9:30～
15:00）していますので、その場で申
込みください。
- 内 容 1時間程度の温身平案内
- 案 内 料 1,000円/人（小学生以下無料）
- 問 合 先 特定非営利活動法人ここ掘
れ和ん話ん探検隊 (☎62-5955) へ

第57回 少年の主張小国地区大会

中学生を対象とした少年の主張小国地
区大会が、次のとおり開催されます。熱
い思いをぜひ会場でお聞きください。

- 日 時 8月31日(金)14:30～
- 場 所 小国中学校体育館
- 問合先 小国町防犯協会事務局（町民税務課
町民生活担当）(☎62-2260) へ



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●行政管理室・管財危機管理室 ☎62-2112 ●企画財政室 ☎62-2264 ●会計室 ☎62-2406
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●白い森ブランド戦略室・移住定住促進室 ☎87-0821 ●商工観光室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(6月届出分)

誕生おめでとうございます。

小国町木村 ^{あお} 碧 ^お 芭 (秀也)
 河原角伊藤 ^{あお} 碧 ^お 李 (洋平)
 小国小坂町園山 ^ま 真 ^い 唯 (良圭)

結婚おめでとうございます。

(玉川 佐藤 孝典
 長井 市大 場 理 沙)
 (大宮 遠藤 成晃
 山形 市 船 山 桃 代)

おくやみ申し上げます。

若山 舟山 留吉 (88)
 小国小坂町 金 キ ク (92)
 岩井沢 塚原 ミ ヨ (83)
 西 今 ユリ子 (75)
 大宮 與板 トミ子 (85)
 幸町 高橋 伊三郎 (98)
 古田 加藤 七三郎 (87)
 伊佐領 船山 とみ (89)
 岩井沢 今 政 昭 (66)
 黒沢 保科 トミエ (99)
 岩井沢 伊藤 純 一 (84)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際に
 お申し出ください。

人口のうごき (平成30年6月30日現在)

人口 男・・・3,813人(一 2)
 女・・・3,856人(一 7)
 計・・・7,669人(一 9)
 世帯数 3,088世帯(一 2)

編集後記

猛烈な暑さが続いている日本列島。7月23日には、埼玉県熊谷市で41.1度を記録し、5年前に高知県四万十市で記録した41度を上回り、日本の観測史上最高気温になりました。連日報道されていますが、こうした暑さで熱中症になるかたが増えています。屋外だけでなく屋内でも熱中症になる危険性があります。屋内屋外に関わらず、十分な水分と塩分を補給し、熱中症にならない対策をしっかりとしておきましょう。

(斎藤)

仕事

vol.4

図鑑

有限会社 豊嶋石英硝子

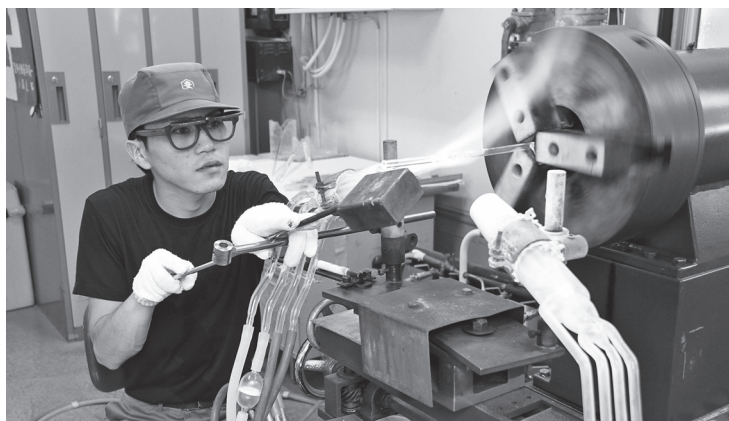
代表者 代表取締役 豊嶋 信人
 従業員数 5人
 所在地 小国町大字小国小坂町541-1
 事業概要 石英ガラスの加工

(有)豊嶋石英硝子に勤める木村祐介さん(岩井沢)。木村さんは、同社で石英ガラスの機械加工や手加工、ガラス溶接など加工工程全てを担っています。入社9年目になり、現在では小型製品の加工はほぼ1人で仕上げるできるようになり、今後は、大型製品の加工にも携わるそうです。

木村さんは、「製品規格内に調整しながらガラスを加工し、仕上がりの見た目なども考えないといけないので、どの工程をとっても技術がいる仕事です。また、ガラスを熱しながら加工を行うので均等に加熱しないとひずみが入り製品が割れてしまうのでとても気を使います。少人数ですが、先輩後輩の仲がよく、和やかな雰囲気です。先輩がたはいつも優しく、でも時には厳しく、丁寧に指導してください。ものづくりですので、1人でやっても2~3人でやっても、やはり製品が完成し、検査を通った時がとても達成感があります。今後は、先輩後輩の橋渡し役として会社の戦力になっていきたいです。」と話してくださいました。

(有)豊嶋石英硝子では、主に半導体の製造に必要な不可欠な高耐熱、高純度の石英ガラス製品の製造を行っており、主には顧客からの注文に応じて1品毎製造しています。また、石英ガラス製品の加工だけでなく、既存製品の修繕も得意としており、石英ガラスの原材料不足の際にも修繕が行えることを強みとしています。

ガラス加工に求められる品質特性も高度化、高精度化する中で、同社では、IT産業の発展の一助となるよう、より良い製品製造のため、製造技術の向上に常に挑戦しながら、『ものづくり』を行っています。



▲石英ガラスを高温で熱しながら加工している木村祐介さん

無言の語り部たちⅡ

その④

「西国三十三所順礼供養塔」 (黒沢)

「観音さん」と呼ばれることの多い観世音菩薩(かんぜおんぼさつ)。その御利益は非常に多岐にわたります。また、人々の求めに応じ姿を様々に変えて人々を救う(応化身)とも信じられており、いつしか人々は「観音信仰の普及と共に、聖観音と応化の各観音をあわせた六観音、或いは二十五観音、三十三観音等をさだめて信仰するようになった」(『小国の信仰』より)

た。『小国の信仰』より)うです。三十三カ所の応化観音にお詣りをする三十三カ所巡礼という、西国三十三カ所巡りが有名ですが、山形県内でも、出羽百観音として山形三十三観音や最上三十三観音、置賜三十三観音などが存在しており、今でも巡礼をしているかたもいます。本町でも下表の通り、いつ誰が選定したかは不明ですが、六観音



▲西国三十三所順礼供養塔

を安置する寺院や、神社など三十三カ所の札所が設けられています。

越後街道沿いにあり、多くの人々が行き交った黒沢集落には、その道標となる碑があります。道路脇の高台(伊藤芳夫さん宅裏)に、高さ1メートルほどの石碑に「西国三十三所順礼供養」と刻まれています。ここにこの碑が建てられた背景について以下のように『小国の信仰』では説明しています。「観音は、私達の親しい仏様のひとつであり、昔は村ごとに観音講があり、御縁日は宿に集まりご詠歌をあげ、御念仏を唱える。講中の人々は農閑の季節を選び、白衣を着てお札打ちに出掛ける。札所では、白い『オユズリ』にひとつずつ朱い判を押してもらつ。『オユズリ』が真赤になれば、極楽往生できるといい、死ねばそれを棺の中に入れてやるという。この地方は、不便な土地で、他国に向くことも困難であったので、信仰の指標として、西国三十三観音の塔婆を建て、ここで供

当国三十三番札所 (『小国の信仰』より)

1番	光岳寺	12番	古四王神社	23番	慈恩寺(大日)
2番	慶昌寺(観音)	13番	薬師堂(薬師)	24番	薬師一北
3番	飯綱神社	14番	竜正寺(千手)	25番	盤昌寺(観音)
4番	瑞楽寺(不動)	15番	遍照寺(不動)	26番	早船寺(千手)
5番	光岳寺(千手)	16番	円長寺(大日)	27番	吉祥寺(馬頭)
6番	慈恩寺(千手)	17番	同源寺(妙意輪)	28番	大日寺(大日)
7番	光岳寺(六地)	18番	金毘羅一町原	29番	洞泉寺(馬頭)
8番	八幡神社	19番	虚空蔵一岩井沢	30番	松円寺(観音)
9番	愛宕神社	20番	諏訪神社	31番	日光院(観音)
10番	県社(神明)	21番	地藏一町岩	32番	長福寺(千手)
11番	大竜寺(千手)	22番	地藏一町岩	33番	光岳寺(千手)

養したものであろう。」

周囲を険しい山々に囲まれた本町では、域外への巡礼が難しかったため、黒沢の塔婆のほか町内に点在する寺院・神社を巡拝する形での「当国三十三番札所」が選定されています。敬けんな祈りや、賑わっていた往時の街道の姿などを思いながら、札所に出かけてみてはいかがでしょうか。